



こんにちは

村田 けい子

9月議会
報告

2017
11.10
No 127

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

台風
の被害に遭われた
みなさんに心より
お見舞い申し上げます。



りんごが落下は1割にも



倒木があちこちで



台風により路肩の崩れた道路

相次ぐ台風による強風・豪雨で、あちこちで倒木による停電や通行止め、路肩の崩れなど災害が起きました。特に収穫間近のリンゴなどが大量に落下。売り物にもならず穴を掘って埋めてしまったとのこと。どんなにか無念だったことでしょう。リンゴの被害は4700万円にも及ぶとのこと。自然が相手の農業や漁業。損失補償や所得補償が必要だと思えます。

お世話になりました。引き続きみなさんと力を合わせて命が大切にされる社会をめざして頑張ります。



【衆院選挙区】
小金沢ゆか

力を発揮した
「野党共闘
+市民連合」

台風の余波で、稲が倒伏した田があちこちに散見されます。台風被害に遭われたみなさんに心よりお見舞い申し上げます。

突然の総選挙で、巨大与党が誕生しました。今回の選挙の結果は小選挙区制のマジックと、野党の分裂による多党

冒頭解散と同時の「希望」の党の旗揚げ、民進党の解体・合流などで野党共闘に大きなクサビが打ち込まれ、市民運動にも大きなショックが。

しかし日本共産党はぶれずに「市民と野党共闘」を堅持し、社民党と新たに生まれた立憲民主党・無所属と共闘し、自民党との一騎打ちで競り勝ち3野党全体で38から69議席へ大きく増やしました。

全国289小選挙区のうち、249での野党候補の一本化のために、日本共産党は67選挙区で、候補者を取り下げなど共闘勢力の前進に貢献。32選挙区で野党候補が勝利を収めました。3区でも社民党の自主的支援を得て、票を伸ばしました。多くの町民のみなさんのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

「戦争できる国づくり」
力合わせてストッパを！

さて、いよいよ憲法をめぐっての攻防が本格化します。政府は来年の通常国会にも自民党の改憲案を提示し、本格的な改憲議論を進めようとしています。

これからが本番です。「戦争する国」を望まない市民と野党がいつしよになって憲法改悪を許さない大きな運動を展開しましょう。お力をお貸しください。ご一緒に考え、行動していきます。引き続きのご支援よろしくお願ひします。



浅間山冠雪
深まる秋



浅間山が冠雪。青空に映えています。日ごとに色づくモミジ・カエデ・イチョウ・桜は錦に彩られています。信州の秋は鮮やかです。今年には長雨のせいでしようか、色づきが遅れているようすが、発色が今一つですがそれでも青空に映えて鮮やかさが際立っています。深呼吸をしました。車のフロントガラスに霜の花。厳しい冬はもうすぐ。温泉が恋しい季節、おでん・お鍋が嬉しい季節到来です。

【一般質問】その1

「ポプラを残して！」住民の切実な思いを質問



立科小学校の3本のポプラ、立科小学校のシンボルになっている。

小学校のグラウンドの南側町道に歩道を整備し、幅9m、2車線の道路に拡幅整備する問題で、平成4年度の卒業生が記念樹として植えたポプラの伐採計画が明らかとなり、該当の子どもたち（現在37才位）と保護者から「ポプラを残して」と声が挙がり、町長への嘆願書や署名運動が起こった問題で、「記念樹であればポプラを残すべきではないか」の立場で質問しました。

Q、町長に出された署名の数は？ 8月25日に 2,930筆、その後追加で合計で3,211筆。町民の2人に一人が、「切らないでほしい、残してほしいと考えている」ということ。「この思いを受け止めている。」と町長・教育長は答弁しました。

Q、「ポプラが危険になっている」との話もあるが、最低限の危険の除去対策は？

ポプラは成長が早いため、風にあおられると弱い。枝打ちは必要。2又になっている幹の選定も必要と考えている。

Q、小学校の周りの道路を整備すれば交通事故の危険も増すのではないか。歩道の設置だけで、拡幅工事はやめたらどうか。

歩道の設置と拡幅ということで県の社会資本整備資金の補助（6割）をもらえる。

「町民の方が納得いくようよく話し合いをすべき」と質問を閉じました。...その後、町は「移植」方針を示し、住民に拒否されると一転、11月7日の議会全員協議会に「伐採」方針を伝えました。その折も住民のみなさんと直接話し合うことはなく一片の通知を手渡したただけでした。

* 9月議会ではまだ、建設事務所と調整中ということで詳細な答弁はありませんでしたが、町は、町民の署名運動を受けて、県との調整も行い、ポプラを残しグラウンド側に歩道・南側に車道を作る場合の詳細な検討を行いました。おおよそ1,400万円かかることが分かり、木を移植した方が安い（約1200万円）との判断で移植をうちだしました。会のみなさんの「移植は望まない」の声で当初の計画通り伐採を決断したとのこと。

予算審議の中で、小学校線の整備について、ポプラが「記念樹」であることをしっかり認識しないまま了承した議員も多いと思われます。また町も記念樹であることを知った前年の夏の段階でしっかり住民のみなさんと向き合っていれば、こんなに後味の悪い思いをする結果にならなかったと思います。住民の想いを受けて残すことはできないのでしょうか。「住民の想いを想いとして」（町長の所信表明）とはいったいどうあるべきでしょうか。大きな課題を残しました。

【一般質問】その2

町所有の大型バス、町民が活用できるようにすべきでは？

町のバスは3台あるが、その利用は低調です。税金で買ったものなので、町民の様々な団体や活動に使えるようにして有効活用するべきではないか。との立場で質問。

しかし事故などの保障はあくまでも町主催の行事や事業に使うことを前提に保険が組まれており、そのため、11団体20事業に限られているとのこと。

町長は「当時とは状況も変化しており、町の財産を町民に使ってもらえるようもう一度検討したい」と答えました。



【9月議会の議案審査から】

福祉医療費窓口負担が500円だけに（来年8月1日から）

皆さんの運動が実りました。

①対象者 0～18才 916名
（平均2,500円）
・0～就学前 261人
（平均3,400円）
・就学児童から18歳まで 655人（平均4,400円）
・働いている人も対象です。

月平均2～4,000円掛かっていた医療費（平均）が一と月500円になります。調剤を含めると1,000円ですみます。

②長野県としては、小中学生の入院だけを対象にしているの、通院分と、高校生の医療費分は町独自の無料制度となっていま

③国のペナルティ 約500万円

国は医療費窓口を軽減する制度にしている自治体に対して「財政に余裕がある」として、今でも交付金を減らしています。さらにこの改善で「医療に係る人が増える事」を理由に、本来交付しなければいけない金額が減らされる見込みです。予想として500万円。

今後はこの自己負担金を無くす運動が必要ではないでしょうか。私が住んでいた神奈川県では自己負担金を無くすように運動があり文字